



学校だより



青梅市立東小中学校
令和7年度 第9号
令和7年12月25日

ゆく年 くる年

小学校副校長

今年も間もなく終わり、新しい年を迎えることとなりました。当たり前のことですが、今年1年・2学期・今を振り返り、できたことともうちょっと頑張ることが必要なことを考えましょう。また、新しい年、3学期を迎えるにあたって、振り返ったことを活かした目標をたてましょう。

「作品展」 学校が美術館に！

11月29日（土）から12月4日（木）まで、作品展が行われました。小学校は、図画工作、書写、5・6学年は家庭科の作品を、中学校は、美術科、技術科、家庭科の作品に、2学年職場体験の事後学習のスライド、ものづくりで収穫した作物を展示しました。また、高等部からは、アイデアに富んだ作品や美しい生け花を展示し、どれも素晴らしい魅力的で感動しました。

作品展は、一人一人が最後までやり抜くこと、鑑賞の態度や能力を養うことを目的に行いました。子供たちは、一つの作品を作り上げるまで、毎回の授業に真剣に取り組みました。途中、上手くいかなくて、どうしようかと悩んだり、諦めそうになったりしながらも、先生方の指導と支援を得ながら、最後まで作品づくりに取り組みました。鑑賞後には、他人の作品を認め合う感想を聞くことができ、子供たちの成長を感じることができました。これからも授業に集中して、楽しんで作品制作に励んでくれることを期待しています。

【児童生徒の作品展見学後の感想】

- 自分が思っていたよりも全学年の作品のクオリティーがすごく高くて、お店とかにも売っていそうな作品ばかりですごかったです。来年私もすてきな作品を作りたいです。
- 人それぞれ自分なりに頑張って作ったんだなと思いました。すごく良かったです。
- 作品を見るだけで、作者がその作品をどれだけ本気で作ったのかがとても良く伝わるもののがいくつもありました。それは作品のうまさ、美しさだけで決まる訳ではなく、丁寧さが感じられるものに多かったです。
- 小学生は自由な感じで、その作品に入れたいもの全部つめ込んだ感じがすごく良いなと思った。中学生は作品のバランスを考えつつ、上手く自分を表現しようとしているのを感じた。高等部はどの作品も丁寧で明るい作品が多かったように思う。
- 一人一人の作品は一緒でも、個性やその人に合う色や形、絵や模様でした。時間をかけて作成したのもすぐに分かりました。明るい色合いで心がリラックスでき、ずっと飾っておいてほしいくらいの綺麗さでした。素敵な作品を作った児童生徒の皆さん、準備をしてくださった先生方、本当にありがとうございました。貴重な作品見学となりました。

高等部の皆さん、野球部の皆さん、パネルと机運びのお手伝い、ありがとうございました！！

自分を大切にするために セーフティ教室「薬物乱用防止教室」

12月17日（水）のセーフティ教室で「薬物乱用防止」特に「オーバードーズ」について、動画を視聴しました。薬物が健康に及ぼす影響や、被害にあわないために断る勇気（意思決定）と誘いに乗らない（行動選択）ことについて学びました。自分のこととしてとらえ、自分を大切にすることについて考えを深めました。

中学校 クラブ活動 陸上部 かけっこチャレンジ

10月4日(土)に、江東区夢の島

陸上競技場で全国統一かけっこチャレンジ2025がありました。陸上部は100m走の記録会に参加しました。記録会に向けて日々の練習においてスタートイングブロックの使い方を練習し、一人一人が目標をもって取り組みました。当日は本格的な競技場ということもあり、緊張した様子もみられましたが、全力で最後まで走り切り、練習の成果を発揮することができました。また電車での移動中や競技場でのマナーもしっかり守ることができて素晴らしいかったです。陸上部として初めての試みでしたが、自信や達成感を得ることができ、とてもよい学びとなりました。寮の先生方、応援ありがとうございました。

中学校 クラブ活動 サッカー部 練習試合

11月30日(日)にサッカー部の練習試合がありました。

外部との試合は今年度初めてで、「自分たちも相手も怪我無く気持ち良くサッカーに取り組めること」を大目標に準備を進めてきました。当日は選手が11人揃わず、真藤先生や寮職員の方にもお手伝いをいただき、試合を成立させることができました。実力が拮抗する中、東中チームは計6得点をあげ、大いに盛り上がる内容となりました。お休みの日にも関わらず校長先生、園長先生をはじめ、たくさんの方に応援に来ていただき、ありがとうございました。

今後のサッカー部の活動や寮生活の充実につながることを期待します。

中学校 クラブ活動 関東少年卓球大会

12月12日(金)、茨城県ひたちなか市

総合体育館にて、関東少年卓球大会が行われ、東中の卓球部11人が参加しました。大会の直前まで、ケガや生活の不安定さによって参加が危ぶまれた生徒もいたのですが、結果としてエントリーした全員が参加することができました。

午前は団体戦でした。大会の2か月前から練習を始めたダブルスに出場した選手も懸命にプレーしていました。結果は、男子は予選リーグ3位で決勝トーナメントに進み、健闘しました。午後は個人戦でした。選手たちは広い体育館の各場所に分かれて、対戦相手に立ち向かっていました。練習で身に付けてきた各自のスタイルで戦い、練習の成果を発揮しようと精一杯にプレーしていました。結果は、男子の一人が5位に入賞することができました。試合直後の部員たちの表情には、歓喜、悲哀、興奮、後悔、満足など、様々な感情があふれています。そして、しばらくした後には全員が安堵の表情になっていました。大会に向けての練習、初めての試合、知らない人の対戦等を体験することで、目には見えない成長をしてくれたように思います。学園・寮の先生方には、早朝の送り出しや遅い時間の出迎え、多くの応援など、ご支援いただきありがとうございました。

小学校 社会科見学 ふれあい下水道館・多摩六都科学館

12月19日(金)、小学校では社会科見学に行ってきました。

一つめの見学先は小平市にある「ふれあい下水道館」。日本では唯一の、世界でも3ヵ所しかない実際の下水道管の中に入って見学のできる施設です。この日は、直近の雨量が少なく、純度の高い(?)生活排水が流れていますため、においはややきつめでした。ハンカチや手で鼻を覆う子が大勢いましたが、同時にこうした下水道を管理し整備してくださっている方がいるからこそ、自分たちの生活の快適さが保たれていることに気付き、感謝の気持ちをもつこともできました。

二つめの見学先は「多摩六都科学館」でした。この科学館の目玉は何といってもプラネタリウムです。世界「元」一位(3年前に抜かされたそうです)の投影力を誇る機械で映し出された星空は、息をのむほどの美しさでした。子供たちは説明を聞きながら、星を見つけては指差したり歎声を上げたりして、楽しみながら学習しました。

移動中でも見学先でも、しっかりと指示を聞いてマナーを守って見学することができました。学園の先生方、寮の先生方、様々な面でご協力いただきありがとうございました。特においしいお弁当を作ってくださった調理の先生方、朝早くからご準備いただき本当にありがとうございました。